

2019年度児童発達支援 自己評価及び分析と改善

チェック項目		千葉県 第二つばめ園			
		はい	どちらともいえない	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	8	1	0	
	2 職員の配置数は適切であるか	9	0	0	
	3 生活空間は、本人に分かりやすく構造された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事務所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか。	7	2	0	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	9	0	0	
	分析	概ねできていると考えています。			
	改善方針	職員の配置数については、専門的な対応が出来る職員を配置するために教育を進めています。			
	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	9	0	0	
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	0	
	7 事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の確保及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	8	0	1	
業務改善	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	3	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	0	
	分析	HPIに自己評価の結果を公表している事を知らない職員がいます。 組織の中で信頼性保証室による評価を行っているが理解できていない職員がいます。			
	改善方針	・東京都働き方改革宣言企業として認定されています。 ・福祉のTOKYO働きやすい職場宣言企業として認定されています。 ・パート職員に対して環境整備に関する説明会を実施します。			
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上より支援等サービス計画を策定しているか	9	0	0	
	11 子どもへの適切な対応を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1	0	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援の「発達支援(本人及び関係者)」」「家庭支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	0	
	13 自発支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	0	
適切な支援の提供	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1	0	
	16 子ども状況に応じて、個別活動と集団活動を相互組合わせて児童発達支援計画を作成しているか	9	0	0	
	17 支援開始前には必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1	0	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	7	1	1	
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1	0	
	20 定期的にモニタリングを行い、記録後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0	
	分析	概ねできていると考えます。一部のパート職員においては支援後の打ち合わせ前に帰ってしまうため。			
	改善方針	・パート職員を含めた定例会議の実施する。 ・業務連絡ノート等の導入し、週1~2回出社するパート職員に対して情報共有を行う。			
	関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した人も含む関係機関から参加しているか	9	0	0
		22 母子保護者や子ども子育て支援等の関係機関と連携した支援を行っているか	9	0	0
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)地域の医療、医療、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		8	1	0	
24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)子どもの主治医や協力機関等と連携体制を整えているか		7	1	1	
25 移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園、特別支援学校(幼稚園)との間で情報共有や連携に努めているか		8	1	1	
26 移行支援として、保育園や認定こども園、幼稚園特別支援学校(幼稚園)等と連携内容等の情報共有や連携に努めているか		9	0	0	
27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や情報を受け取っているか		5	3	1	
28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		6	2	1	
29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか		8	0	0	
30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		9	0	0	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		6	3	0	
分析		関係機関との連携が進んでいない状況と言えますが、協議会等へ積極的に参加しています。			
改善方針		法人内に児童保育施設とありますので、交流を図っていきます。 相談支援事業所との連携を強化していきます。			
保護者への説明責任	32 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1	0	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の意向を得ているか	8	1	0	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	0	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	1	0	
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に寄り添い、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	0	
	38 個人情報に十分注意しているか	9	0	0	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	3	1	
	分析	今期父母会の開催が行われませんでした。 地域の祭事「やっさいもっさい」に継続して参加しています。			
	改善方針	・放課後子ども教室「ハッフルベリー」での連携を進めていきます。 ・地域の祭事「やっさいもっさい」に今後も参加していきます。 ・父母会を実施します。 ・八王子市民協働協議会「ゆめおりファンド」情報開示の認証基準に3年連続達成しているで継続し、職員に周知を図ります。			
	非常時の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	2	0
		42 非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握確認しているか		9	0	0	
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		9	1	0	
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		9	0	0	
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		0	0	0	
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		9	0	0	
分析	避難訓練等を毎月実施しています。・虐待防止に関しては、毎月チェックリストで確認しています。ヒヤリハット事例集を作成してリスク管理委員会にて、月に1回全園でリスク委員会を開催し、ヒヤリハット情報を取りまとめで、共有をしています。概ね、リスク管理対応については周知できていると考えます。				
改善方針	リスク管理委員会の内容をパート職員に対してフィードバックの徹底を行っています。身体拘束の対応について各園の管理者より説明周知を図ります。				